

国立大学法人長岡技術科学大学
令和6年度第6回経営協議会議事要旨

日時 令和7年3月14日（金）14時30分～16時30分
場所 KKRホテル東京 白鳥の間

出席者 鎌土議長、天羽委員、井上委員、合田委員、谷口委員、西岡委員、和田委員、梅田委員、
佐藤委員、武田委員、高橋委員、井原委員
（議事の表決委任による出席：荒木委員、池田委員、磯田委員、関委員、Tran委員）
陪席 大塚附属図書館長、馬場監事、野本監事
事務局 事務局次長（総務担当）、企画広報室長、財務課長、人事労務室長、監査室長、総務課参
事、総務課専門員、人事労務室専門員、財務課財務企画係長、企画広報主任、総務課総務
係員

配付資料

令和6年度第5回経営協議会議事要旨（案）

資料1 : 国立大学法人長岡技術科学大学 令和7年度の計画（案）

資料2-1 : 就業規則の一部改正について

資料2-2 : 国立大学法人長岡技術科学大学職員給与規則の一部改正（案）新旧対照表

資料2-3 : 国立大学法人長岡技術科学大学新年俸制適用職員給与規則の一部改正（案）新旧対照
表

資料2-4 : 国立大学法人長岡技術科学大学短時間再雇用職員就業規則の一部改正（案）新旧対照表

資料2-5 : 国立大学法人長岡技術科学大学職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部
改正（案）新旧対照表

資料2-6 : 国立大学法人長岡技術科学大学扶養手当規程の一部改正（案）新旧対照表

資料2-7 : 国立大学法人長岡技術科学大学通勤手当規程の一部改正（案）新旧対照表

資料2-8 : 国立大学法人長岡技術科学大学単身赴任手当規程の一部改正（案）新旧対照表

資料2-9 : 国立大学法人長岡技術科学大学管理職員特別勤務手当規程の一部改正（案）新旧対照表

資料2-10 : 国立大学法人長岡技術科学大学管理職手当規程の一部改正（案）新旧対照表

資料3-1 : 第3期中期目標期間繰越積立金の用途について（案）

資料3-2 : 目的積立金の用途について（案）

資料4-1 : 令和7年度長岡技術科学大学運営経費予算編成（案）のポイント

資料4-2 : 令和7年度長岡技術科学大学運営経費予算編成（案）の概略

資料4-3 : 令和7年度長岡技術科学大学運営経費予算（案）

資料4-4 : 令和7年度間接経費（全学共通分）の執行について（案）

報告1-1 : 国の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令の改正に伴う付表3機関による
作業について（事務連絡）

報告1-2 : 政府調達に関する説明会資料（抜粋）

報告1-3 : 国立大学法人長岡技術科学大学業務方法書の変更

報告1-4 : 国立大学法人長岡技術科学大会計規程の一部改正

報告2 : 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）の採択について

報告3 : 令和7年度執行部体制について

報告4 : 令和7年度経営協議会開催日程

議事に先立ち、令和6年度第5回経営協議会議事要旨（案）について説明があり、案のとおり承認した。

【審議事項】

1. 令和7年度の計画について

和田委員から資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○ダイバーシティに関して、特に女性や外国人については課題が多いと感じているが、現状の数字を見るとある程度進展しているように見えるが状況はどうか。

●今年度は目標を達成している。ただし、女性職員の管理職登用や留学生・外国人教職員の増加には課題が残っている。外国人教職員への支援として、日本語講義を家族も含め無料で提供するなどの取り組みを行っているが、実際には増加が進んでいないのが現状。

2. 就業規則等の一部改正（給与制度アップデート）について

佐藤委員から資料2-1から資料2-10に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○新年俸制の職員の業績評価期間は、毎年行われるのか、または一定の期間を定めて実施されるのか

●業績評価は毎年1年間で実施している

3. 第3期中期目標期間繰越積立金及び目的積立金の使途について

佐藤委員から資料3-1及び資料3-2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○障害者向けのユニバーサルデザインに関する配慮もしておられると思うので、「安全安心」などの一般的なカテゴリーに含めてしまうのではなく、具体的に配慮していることが分かるように明示した方が大学の姿勢が伝わると思う。

●キャンパスマスタープランを作成するにあたり、構内交通問題やセキュリティなど、さまざまな課題や観点を考慮し、それらを計画に反映させたいと考えている。

4. 令和7年度長岡技術科学大学予算編成について

佐藤委員から資料4-1から資料4-4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

●国立大学全体が厳しい状況にあり、大変だと感じている

○研究力を高め、稼ぐ力を養うことが重要です。そのため、若手研究者がボーダーレスなチームで協力し、新たな成果を生み出す仕組みを構築する。これにより間接経費を確保し運営費に回す体制を整える。

【報告事項】

1. 国立大学法人長岡技術科学大学業務方法書の変更及び会計規程の一部改正について

佐藤委員から報告1に基づき報告があった。

2. 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）の採択について

鎌土議長から報告2に基づき報告があった。

3. 令和7年度執行部体制について

鎌土議長から報告3に基づき報告があった。

4. 令和7年度経営協議会の日程について

鎌土議長から報告4に基づき報告があった。

審議終了後、学長から、3月末をもって異動となる構成員の紹介があり、引き続き各人から挨拶があった。

以上